

## あいちエコモビリティライフ推進協議会設立趣意書

「交通」は、人の移動や交流、物の輸送・流通に不可欠な存在であり、日常生活や経済社会活動を支える基盤である。その中で、自動車は、便利で快適な生活や活力ある地域社会を形成してきた重要な交通手段である。

とりわけ、愛知県は、県民の移動に係る自動車の利用割合が約7割と東京圏・大阪圏に比べて高く、自動車に依存した交通体系になっており、世界的なモノづくり拠点とあいまって、自動車とともに発展してきた地域である。

一方で、自動車交通への過度な依存は、地球規模で早急な対応が求められている環境への負荷をはじめ、交通事故や渋滞、中心市街地の空洞化など様々な問題の一因ともなっている。

こうした問題を解決するとともに、少子・高齢社会における交通弱者の移動手段の確保や地域住民の健康づくり、活力のある地域づくりなどを実現していくためには、自動車と公共交通、自転車、徒歩などが共存した交通体系を構築することが重要であり、これまでの都市・交通の仕組やライフスタイル・ワークスタイルのあり方などを変えていく必要がある。

こうした中、本県においては、環境が大きなテーマであった2005年の愛・地球博（愛知万博）や2010年の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催される地元として、環境にやさしい交通行動を軸とする新しいライフスタイル、すなわち自動車と公共交通、自転車、徒歩などをかしこく使い分ける「エコモビリティライフ」の普及・定着を目指すこととする。

そのためには、県民一人ひとりが、環境にやさしく、安全で健康的な生活につながるエコモビリティライフの意義を理解して実践するとともに、それを支える環境づくりが必要である。

こうした観点から、行政・事業者・各種団体・NPOなど幅広い分野の関係主体がエコモビリティライフの実現に向けて総力を結集する「あいちエコモビリティライフ推進協議会」を設立する。